

令和元年度 学校評価について

けやき

千葉市立千城小学校学校だより臨時号
令和2年3月19日

学校評価のアンケートへのご協力ありがとうございました。今年度の学校評価がまとまりましたので、お知らせいたします。

◎学校教育目標

人間性豊かな実践力のある千城っ子の育成

○目指す子供像

- ㊦ 健康で最後までやり通す子供の育成
- ㊧ やる気いっぱい よく考え、自ら学ぶ子供の育成
- ㊨ きれいな心 心豊かで思いやりのある子供の育成



※参考資料の学校評価アンケート（児童15名 保護者回答12名 教職員11名）

縦軸：4…そう思う 3…どちらかといえばそう思う 2…どちらかといえばそう思わない 1…そう思わない 横軸単位：%

凡例

平均数値
児童
保護者
教職員

今年度の成果と課題・改善策

□は前年度よりアップ →

㊦ 健康で最後までやり通す子供の育成 に関連して

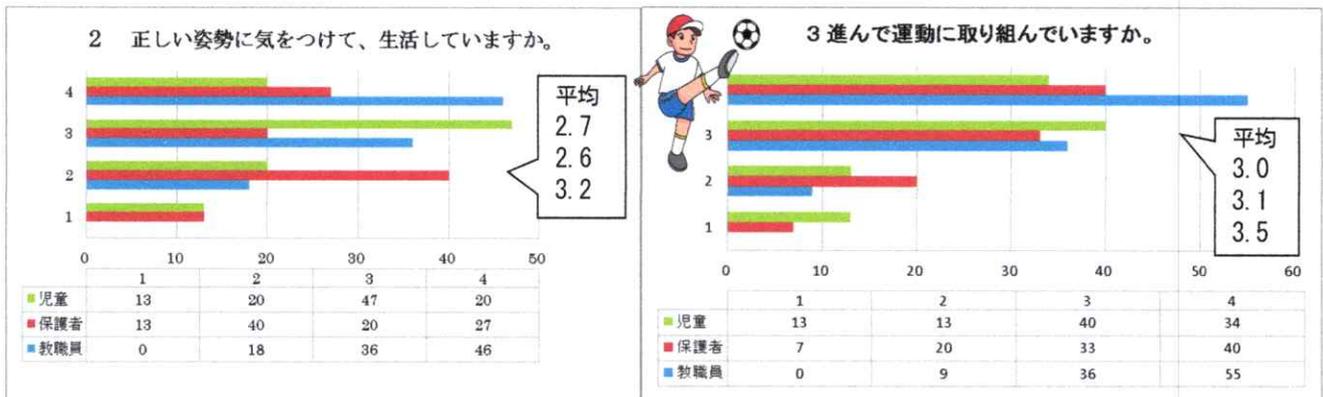
2 「正しい姿勢」

※番号はアンケートの項目番号

保護者・児童ともに評価が低い。月の生活目標として取り上げたり、保健指導を行ったりしているが、定着していない。児童が常に意識できるよう、学習の約束の徹底を図り、話を聞く姿勢、文字を書くときの姿勢等、日常的な声かけに努め、改善を図りたい。

3 「進んで運動に取り組んでいる」

例年、比較的評価の高い項目であるが、二極化が見られる。体育学習や行事等では積極的な取り組みが見られるが、休み時間に外に出ることを好まない児童もいる。教職員とともに複数学年で一緒に遊ぶ時間をさらに増やしたい。マラソン週間、4年生以上参加の陸上大会や球技大会の練習など、運動の楽しさを味わわせるとともに、今後継続的な取組による体力の向上を図っていきたい。



㊧ る気いっぱい よく考え、自ら学ぶ子供の育成 に関連して

6 「間違いや失敗を恐らずにチャレンジする」

児童・教師共に、昨年度よりも平均が上がっている。

本校は、小規模校のよさを生かし、どの子も主役になれる場の設定や個に合わせたきめ細やかな教材・教具の用意など、手立てを工夫して教育活動を行っている。しかし、教師の手が行き届きすぎて、児童に任せることが少なくなってしまう可能性もある。

新しいことに取り組むことや、教師の指示を待たずに自分なりに考え進んで活動する経験を増やし自分で頑張ってきたという自信を積み重ね、自分なりのめあてをもってチャレンジしていける児童を育てたい。

